

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称	生活安全協議会 セーフコミュニティ推進協議会 総合高齢社会対策推進協議会
事務局 (担当課)	政策経営部セーフコミュニティ推進室 総務部治安対策担当 福祉部福祉総務課
開催日時	令和7年2月20日(木)午後2時00分～午後4時00分
開催場所	としまセンタースクエア
出席者	37名(生活安全協議会)
議題	1 豊島区長 挨拶 2 セーフコミュニティ各対策委員会からの報告 (1)子どものけが・事故予防対策委員会 (2)高齢者の安全対策委員会 (3)障害者の安全対策委員会 (4)自転車利用の安全対策委員会 (5)繁華街の安全対策委員会 (6)地震災害の防止対策委員会 (7)ドメスティック・バイオレンスの防止対策委員会 (8)児童虐待の防止対策委員会 (9)自殺・うつ予防の予防対策委員会 3 区からの報告 (1)「第二次豊島区再犯防止推進計画(素案)及び特殊詐欺対策等について (2)総合高齢社会対策の取り組みについて (3)みんなでつくる新しいセーフコミュニティ 4 意見交換・協議

提出された資料等		資料1 セーフコミュニティ各対策委員会からの報告資料 資料2 第二次豊島区再犯防止推進計画(素案)及び特殊詐欺対策等について 資料3 総合高齢社会対策の取り組みについて 資料4 みんなでつくる新しいセーフコミュニティ 資料5 委員名簿
公開の可否	会議	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開 傍聴人数 0人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由

(治安対策担当課長)

定刻になりましたので、「豊島区生活安全協議会」及び「セーフコミュニティ推進協議会」並びに、「総合高齢社会対策推進協議会」の3協議会を開会いたします。

まず、開会にあたり、3協議会の会長であります、豊島区長 高際みゆきよりご挨拶申し上げます。高際区長、よろしくお願いいたします。

【1 豊島区長あいさつ】

みなさま大変お世話になっております。皆様、本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。このような会場で勢ぞろいで皆様に会える機会は、年に何回かございますが、年度の最後に集まるのはこの会です。今年度もあと1カ月ほどありますが、大変お世話になりました。そして日頃より、区政全般において多大なるお力添えをいただいていることを御礼申し上げます。生活安全協議会・セーフコミュニティ推進協議会、総合高齢社会対策推進協議会委員の皆様には日頃よりご支援いただいておりますが、特に安全・安心、そして、子どもや高齢者、障害者に優しいまちづくりに並々ならぬご協力を賜っておりますこと、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

安全安心というのは誰もが住みたいと思うのは前提条件だと思います。豊島区は新しい基本構想・基本計画の策定に向けて、これから区議会で審議予定です。その課題の一丁目一番地に置いているのが安全安心です。それを支えてくれるのが本協議会でありまして、「安全・安心」は、誰もが「住みたい・住みたい」と思えるまちづくりを進めるための、最も重要な基盤です。その「安全・安心」を支えてくださっているのは、環境浄化パトロールをはじめ、生活安全協議会委員の皆様が様々な活動に従事し、まちの安全を見守っていただいているおかげだと思っております。

明日の夜に池袋西口の環境浄化パトロールには私も参加いたしますが、パトロールに参加するたびに、地域全体で「安全・安心」が支えられていることを実感するとともに心強さを感じています。若い方や町を守り続けたご年配の方もみんなで、引き続き安心安全を守るという覚悟をもって臨む予定です。

繁華街の安全対策も含めたセーフコミュニティ活動は、各対策委員会で、本当に活発な議論をさせていただいてきました。セーフコミュニティの活動も13年目を迎え、皆様のご協力で、豊島区独自のさまざまな地域連携としての仕組みとして確立し、連携の強化が進んできた。これが豊島区の強みの一つであると確信しております。

総合高齢社会対策につきましては、「高齢者に優しいまちづくり」を目指して、新しい基本計画の中でも大きな柱の一つとしています。今までも皆様のお力をいただきながら見守り強化やフレイル対策、終活サポートなど、全国的に注目を集めています。さまざまな取組みに加え、今年度はおたっしやカードを拡充し、公衆浴場での利用もかなり増えていると聞いておりますし、暮らしを支える施策を進めてまいりました。来年度も引き続き、各施策の充実に取り組んでまいります。

2025年は段階の世代が全員 75 歳以上になる年であり、大きな節目だと思っています。高齢者と言われる世代がいかに元気で過ごせるかは、欠かせない重要な課題であると思っています。これからは高齢者と言われる年齢は上がっていくかもしれませんが、生き生きと暮らしていける取組みも力を入れて進めてまいります。

先ほど申し上げた新しい基本計画・基本構想について、これまで以上に区民ニーズに寄り添って作って行こうという覚悟で取りまとめました。区民の声を聴くという事は、一方的に聴くということではなく、皆様と一緒にやっていくということが大前提です。

変化の激しい時代です。今年の夏も去年より暑いでしょうし暑い期間は伸びるでしょう、そして大地震は絶対来ると思って対策をしなければならない。絶対来るということで災害・防災対策を考えていかなければならない。

居場所を必要とする子ども・若者の増加、孤独・孤立問題など、新たな地域課題が生じています。小中高生の自殺や若い女性の自殺も増えている。すずらんスマイルプロジェクトをやっているが、孤立させないという一層の取組みが必要です。

特殊詐欺について、豊島区は区民一人あたりの被害額が東京 23 区でワーストワンであり、全く解消されておらずその対策も必要です。それには、なんといっても皆様のお力添えがあつてこそと思っています。

のちほど、各協議会の担当課長よりご説明いたしますが、この3協議会の体制も、新たな課題にも対応するため、さらに発展させ、対応力を強化し、引き続き地域の皆様と連携しながら、次なるステージで展開してまいります。ぜひ、皆様には豊島区の将来像に向けて、さらなるお力添えをお願いいたします。

本日は、各対策委員会や3協議会の活動報告により、情報共有を図り、委員の皆様との連携をさらに強める機会としていきたいと考えております。そして、生活安全、セーフコミュニティ、総合高齢社会対策の取組みを強化してまいりたいと考えておりますので、引き続きのお力添えをお願いし、私からのあいさつとさせていただきます。ありがとうございます。

(治安対策担当課長)

高際区長ありがとうございました。それでは、議事を進めます。

議事2の「セーフコミュニティ各対策委員会からの報告」について、それぞれの対策委員会より発表いただきます。

(1)「子どものけが・事故予防対策委員会」高田 慶子様

(2)「高齢者の安全対策委員会」委員長 竹野 康二様

- (3)「障害者の安全対策委員会」委員長 長谷川 則之様
- (4)「自転車利用の安全対策委員会」委員長 唐澤 和子様
- (5)「繁華街の安全対策委員会」委員長代理 高濱 晴彦様
- (6)「地震災害の防止対策委員会」委員長 外山 克己様
- (7)「ドメスティックバイオレンスの防止対策委員会」委員長代理 浜 千加子様
- (8)「児童虐待の防止対策委員会」委員長 高田 慶子様
- (9)「自殺・うつ病の予防対策委員会」委員長代理 小林 聖子様

(治安対策担当課長)

対策委員会の皆さま、発表ありがとうございました。

続きまして、次第の議事3「各協議会事務局からの報告」の一つ目「第二次豊島区再犯防止推進計画(素案)及び特殊詐欺対策等について」、私からご説明いたします。

説明:治安対策担当課長 (資料2)

(治安対策担当課長)

続きまして議事3の二つ目「総合高齢社会対策の取り組みについて」、福祉総務課長が、説明いたします。

説明:福祉総務課長 (資料3)

(治安対策担当課長)

続きまして議事2の三つ目「みんなでつくる新しいセーフコミュニティ」について、セーフコミュニティ推進室長が説明いたします。

説明:セーフコミュニティ推進室長(資料4)

【4 意見交換・協議】

(治安対策担当課長)

それでは、これより意見交換・協議を行いたいと思います。

新年度からの新しい「基本構想・基本計画」のスタートとともに、3協議会の活動も、ニーズや社会の変化、地域特性などを踏まえて、さらにパワーアップします。

推進協議会委員の皆様は日ごろより、安全・安心なまちづくりの活動を通して、地域の状況や

住民ニーズを深く理解しておられると思います。普段の活動で感じていることやご意見をいただけますでしょうか。

（豊島区民社会福祉協議会会長 寺田晃弘 委員）

セーフコミュニティの対策委員会の中の、高齢者の安心安全というのとひとり暮らし高齢者について。豊島区はひとり暮らしの高齢者割合が日本一であり、その中でも身寄りのない高齢者が多く、その方たちは中々自分で手を上げないという問題があり対策が必要だと考える。先ほどの「障害者の安全対策委員会」での報告にあった、「豊島区障害者防災の手引き」を見たことがなかった。目に見えない人に対してのものかと思うが、健常者も知った方が良いと思うので、もっと周知した方が良いのではないかな。

（高齢福祉課長）

今後は身寄りのない高齢者は、ますます増えていく。先ほどあった、民生児童委員の熱中症予防訪問や企業との協定による見守り体制を作り、ひとりでも困りごとを早く発見したい。安全対策委員会でも孤独孤立が問題と認識している。地域の方のお知恵を借りて対策していきたい。

（障害福祉課長）

「豊島区障害者防災の手引き」は救援センターでの配布物にもなっており、区のホームページやYouTubeでも見られるようになっている。冊子は、QRコードがついており音声で聞けるようになっている。また、健常者の方にも理解していただきたい内容になっているので、引き続き啓発していきたい。

（防災危機管理課長）

区民向けの防災ブックについても作成中であり、冊子が完成したら周知していく。

（池袋西地区環境浄化推進委員会委員長、豊島区高齢者クラブ連合会会長、セーフコミュニティ対策委員長（地震災害の防止） 外山克己 委員）

豊島区に単身高齢者が多いことや孤独死について、高齢者クラブとしてもどのような形がよいのか考えている。令和7年度に東京都が8億円の予算をつけて、スマートウォッチを使った見守り用のアプリを作成して、各区市町村にトライアルするという話がある。豊島区としても、ぜひ参加してもらい、このアプリを使っての一人暮らしの高齢者の見守りをしてほしい。このスマートウォッチは腕に付けることによって、心拍の把握ができ心拍が止まったら通知がいくなどのアプリだと推測している。今までは人的な見守りはしてきたが、デジタル化の見守りを積極的に進めていきたい。高齢者クラブで協力できることがあれば協力して、進めていきたい。東京都は予算をつけているので、そういう方向で進んでいくと思う。

（高齢者福祉課長）

今後は見守りも人だけでなく、様々なICTを活用していく方向性になると思う。今は様々な方法があるので、どういった方法がよいのか研究をしていきたい。東京都の新規事業も把握はしているが、まだ詳細を把握していないので今後研究していきたい。

（池袋西地区環境浄化推進委員会委員長、豊島区高齢者クラブ連合会会長、セーフコミュニティ対策委員長（地震災害の防止） 外山克己 委員）

アプリを使っただけの見守りは、東京都健康長寿医療センターの知見によりそのアプリが開発されている。直接、東京都健康長寿医療センターの研修として、そこの先生にお話しをしてもらう。その方を通して詳細は聞いているので、もう少しわかっただら、所管課とお話しさせていただきたい。

（豊島区観光協会最高顧問 齊木勝好 委員）

池袋、巣鴨、大塚の商店街に外国人が多い、外国人対策を真剣に考えないと国際都市ではなく、犯罪都市になってしまうおそれがある。犯罪がおきてからでは遅いし、現在は外国人に対する要件みたいなものがあまりないような気がする。もう少し要件を付け加えたほうが良いのではないかと。それに、外国人の居住者も増えている。春節で中国からの旅行者が引き揚げた後でもまだ相当多い印象であり、もう少し外国人への対策を考えた方がよい。

（豊島区長）

基本計画の中でも外国人について、各分野にまたがって記載している。今年度はワンストップの外国人相談窓口をつくった。対策については、大きく分けて二つある。まずは、居住者対策で外国人の子ども、孤立孤独の問題。先ほどの「高齢者の安全対策委員会」の報告で気づいたが、単身高齢者の外国人への対策をこれまで考えていなかった。一人暮らし、かつ外国籍の高齢者についても考えないといけない。もうひとつは災害時、居住者・来街者の外国人について、考えないといけない。日中に大きな災害が起きたら、一時滞在施設なども含めて外国人対応をどうするのか。基本計画においては、多文化共生として各分野に横串で対応を書いているが、縦串の視点としても、外国人の居住者その中でも子ども、高齢者、そして来街者についても大きなカテゴリとして考えないといけない。

（セーフコミュニティ対策委員長（障害者の安全） 長谷川則之 委員）

闇バイトについて、通話であれば音声の人は断ることはできるが、非音声である私たちは、インフラとして電話リレーサービスを利用している。しかし、電話リレーサービスで電話をしても、相手が電話を取ってくれないということが問題となっている。闇バイト等の電話ではなく、電話リレーサービスの電話であることを、もっと皆に知ってもらいたいと考えている。

(障害福祉課長)

電話リレーサービスというのは、聴覚障害者が電話をする際に、手話のオペレーターを介して電話をするもの。病院にかけたり、注文したりする際に活用するものであるが、普及が進まないという課題がある。聴覚障害者への利用を進めること、受け手側についても普及啓発を進めていきたい。

(セーフコミュニティ対策委員長(障害者の安全) 長谷川則之 委員)

リレーサービスの電話が闇バイトや特殊詐欺と間違われ電話に出てもらえないことがあるので、電話リレーサービスという電話があるということを知ってもらいたいという意見だった。

(治安対策担当課長)

区でも引き続き周知をしていきたい。あわせて、危機管理監からひと言。

(危機管理監)

外国人の関係で治安対策のことをお話しすると、かつて、外国人犯罪がものすごく凶悪だった時代がある。平成一桁代から平成20年頃。ひとつの特徴として、不法在留者、偽装滞在者など、いわゆる不法滞在者の割合が多かった。外国人の凶悪事案が多かった特徴。不法滞在者の割合が減ってきた。今はどうかというと、凶悪時代と違うのは、不法滞在者が減っていて、正規在住者がほとんど。それでも治安に問題があることがある。そういう人というのは、正規在留者でありながら社会になじめない。日本の生活からドロップアウトする人たちが悪い人たちのところにいくと、犯罪に傾いてしまう。では、どうすればよいのかというと、社会全体としてドロップアウトしてしまう人を出さないというのが大切だと思っている。先ほどお話しがあったように、例えば防災訓練を一緒にやるなどして、豊島区っていいよねというような社会をつくるのが大事である。そのために防災というのは良いと思う。外国語が分からない人は私のところへ、というようなコミュニティも大事で、孤立化させないという社会の実現が大切と思っている。

【5 閉会】

(治安対策担当課長)

時間の都合上、それ以外にご意見等ありましたら事務局まででお願いします。

以上をもちまして、生活安全協議会、セーフコミュニティ推進協議会、並びに総合高齢社会対策推進協議会の合同協議会を終了いたします。

委員の皆様、長時間にわたり、ありがとうございました。